

JLEM News Letter Vol.44



第49回日本語教育方法研究会開催

発表 55 件 参加者 148 名
第 50 回は名古屋大学にて

2017年9月16日(土)、第49回日本語教育方法研究会が筑波大学(茨城県つくば市)で開催されました。加納先生、松崎先生、そして筑波大学の先生方、学生の皆さん、大変お世話になりました。

前日9月15日に運営委員会が開かれました。議事については、このレターの記事をご覧ください。

次回の第50回研究会は2018年3月24日に名古屋大学(愛知県名古屋市)において開かれます。JLEM25周年大会となる記念すべき会です。みなさまふるってご参加ください。

開催を終えて

加納 千恵子
(筑波大学)

2017年9月16日(土)、筑波大学の第三エリア、3A棟において、第49回研究会が開催されました。天候不順が心配されましたが、日本語教育方法研究会(JLEM)が立ち上って来年で25周年という前夜祭的な盛り上がりで、おかげさまで大勢の方々にご参加いただくことができました。

55件のポスター発表(56件目はキャンセルされました)では、日本語教育の多様化を象徴するように、多岐にわたるさまざまなテーマ領域の研究発表があり、活発な議論が行われました。会場となる教室の配置が多少分かりにくかったかもしれませんが、どの会場でも参加者との間で熱心に議論が行われていました。残念ながら、優秀発表賞は該当なしという結果となりましたが、久しぶりに見た感想としては、全体的なポスターの質や発表のレベルは上がっていると感じられました。

今回の研究会では、総会に先立ち、「JLEM25年の歩みを振り返って」というお話をさせていただきました。この機会に参加して下さった皆様と研究会に関する思い出を共有できたこと、この場を借りて厚く御礼申し上げます。開催に向けていろいろとご尽力くださった運営委員の皆様、会場でお手伝いくださった院生の皆さん、いろいろとありがとうございました。また、研究会に参加して下さった皆様、誠にありがとうございました。皆様とともに、次回の名古屋での研究会の開催を楽しみにしたいと思います。

次回開催にあたって

依山 雄司
(名古屋大学)

次回第50回の研究会は、名古屋大学法政国際教育協力研究センター、国際言語センターとの共催により、名古屋大学東山キャンパスにて行います。名古屋大学では、1994年度に第3回の研究会が開催されており、今回が2回目になります。当日は、通常の発表以外に、25周年の特別企画も行われる予定です。25周年の記念研究会を本学で開催できることを大変光栄に思います。

本学は、現在2,000名以上の留学生が在籍しており、国際言語センターが中心となって、学内の留学生向けに多様な目的・形態の日本語プログラムが実施されています。また、特色のある教育の1つに、日本法教育研究センターが行っているアジアの5か国の6拠点における日本語教育プログラムがあります。このプログラムは、現地大学の講義と並行して、日本語と日本法の教育を行い、日本の大学院で日本語によって法学の研究ができる能力を養成するものです。今回会場として使用するアジア法交流館は、このプログラムと関連が深い建物です。

東山キャンパスは、地下鉄東山線の「名古屋大学」駅を出てすぐで、会場の建物も出口からは比較的近いところにあります。少し足を延ばせば、イケメンゴリラのシャバーニで有名になった東山動植物園もあります。皆様のお越しをお待ちしております。

第10回 JLEM 優秀賞

「日本語教育方法研究会優秀賞」（以下、優秀賞）は、以下の基準において優れた内容の発表を行った会員に対して授与します。

- (1) 課題の設定、あるいはその検証の視点に独自性がある。
- (2) 教育実践、あるいは研究成果に今後の発展性が見込まれる。
- (3) ポスターが視覚的に見やすく、内容の理解を促進している。

この基準に照らし、会長と事務局、運営委員から構成される「日本語教育方法研究会優秀賞選考委員会」で選考を行いました。今回は残念ながら優秀賞は該当者なしとの結論に至りました。選考委員からは「奨励賞」や「ポスター賞」を授与したいという意見も出たのですが、これらの賞は「優秀賞以外にも顕彰に値する発表があったと判断された際に」臨時に与えられる賞という規定があり、授与を見送らざるをえませんでした。

みなさまもご存知のように、JLEMはポスター発表が中心の研究会です。現場で抱える問題について、ポスター発表を介して、発表者と聞き手とが情報を交換し、改善のための方策を一緒に検討します。今回の発表の中には、ポスターの示し方や使い方

などが工夫されていて、ポスター発表の在り方について考えさせられるものもありました。ポスターは回を重ねるごとに「美しく」なってきたのはいるのですが、字が小さくて読みにくいと感じられるものもあります。聞き手との対話を促すポスター発表の在り方について、みなさまも一度ご検討いただければと思います。

表彰制度は2013年3月に開催された20周年記念の研究会（第40回）から始まりました。今回（第49回）までに10回の研究会が開かれ、優秀賞8件、奨励賞5件となっています。残念ながら該当者なしは第42回と今回だけでした。

今回は記念すべき25周年となる第50回の研究会です。みなさま、ぜひ優秀賞を目指し、すばらしい発表をしてくださるようお願いいたします。多くの受賞候補が挙げられることを、運営委員一同、期待しております。なお、表彰制度や受賞者については、JLEMのホームページをご覧ください。

（高橋 亜紀子）

25周年企画について

今回の第50回研究会では、25周年企画として、みなさんのJLEMへの想いを共有する場を用意する予定です。

JLEMは、ご存知の通り、会員一人一人の積極的参加によって成り立っている「手作り」の研究会です。

参加者はそれぞれ、日本語教育という共通の関心を通して、「情報収

集」「他者との情報や思想の共有」「ネットワークの形成」「授業改善の方策の獲得」など、いろいろな期待と想いを持って、この会に集ってきています。

25周年という節目を機に、各人が、自らがJLEMとどのように関わってきたかを確認し、その意義を実感できるような「場」を作りたいというのが、本企画の趣旨です。

企画内容は、現在まだ検討中ですが、JLEMへのコメントの壁面展示、ポスター発表と並行して実施する自由参加型イベントなどを考えています。今後メーリングリストやwebページを通して、会員のみなさんにご協力をお願いする予定ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

（俵山 雄司）

総会報告

研究会当日の9月16日（土）午後、2017年度日本語教育方法研究会総会が開催されました。120名の会員の皆さんにご出席いただき、また前日までに48名の方から委任状をお送りいただきました。無事、総会として成立し、全ての議案について承認されたことをご報告いたします。以下、総会での報告事項、承認事項について報告いたします。

①会員数

2017年9月10日現在の会員数は605名になりました。昨年の同時期より24名の増加となります。

②次回研究会の開催予定について
次回研究会は、2018年3月24日（土）に名古屋大学にて開催の予定です。

③2016年度の決算について

2016年4月1日から2017年3月31日までの2016年度の決算案の説明が会計担当委員から行われ、承認されました。

④2017年度の予算について

2017年4月1日から2018年3月31日までの2017年度の予算案の説明が会計担当委員から行われ、承認されました。

⑤会長・事務局委員、運営委員の交代について

会則第4章、第12条、2「役員の選出」に基づき、新役員が9月15日開催の運営委員会で選出され、総会において承認されました。また、現会長、現事務局委員の退任に伴う措置として、新しい運営委員も承認されました。

新会長:河野 俊之氏(横浜国立大学)

新事務局委員:中川 健司氏(横浜国立大学)

新会長、事務局委員の任期は、2018年4月1日より1期2年、最長2期となります。

新運営委員:伊藤 夏実氏(東京農工大学)

伊藤氏は任期途中着任であるため、任期は2018年4月1日より1年となります。

(衣川 隆生)

運営委員会報告

運営委員会が9月15日(金)に開かれました。今回15名の運営委員が参加し、参加できなかった委員からは

委任状が提出されました。以下、運営委員会で承認された重要案件について報告致します。

①日本語教育方法研究会は、ポスター発表を中心とした研究会であり、研究会において、議論を尽くしてより良い教育方法を考えることに主眼を置いております。したがって、次回研究会より、研究会当日、理由の如何に関わらず研究会を欠席し、ポスター発表を行わなかった発表につきましては、発表不成立とし、J-STAGE 公開資料、プログラムからも削除することといたしました。ただし、発表不成立の内容に関しましては、「未発表の内容」となりますので、以降の研究会への応募、他の学会等への応募を妨げるものではありません。

②J-STAGEにおける会誌原稿の公開について

日本語教育方法研究会は、日本語教育学に対する社会的貢献と責任として、研究会誌をジャーナル公開しております。発表に応募いただく際には、この趣旨をご理解いただき、公開をご承認いただけますようお願いいたします。次回以降、公開の承認を前提とした応募とさせていただきますので、よろしくお願い致します。また、従来通り、編集担当委員より最終受理と連絡以降の原稿の変更は認められませんので、その点もご了承ください。

(衣川 隆生)

事務局よりご連絡

●会員管理システム登録情報の確認
2015年10月にweb上での会員管理システム

<<https://secure.jlem-sg.org/>>が導入され、今まで郵送しておりましたニュースレター、発表申込案内、研究会プログラムなどの印刷物の発送は停止しております。皆様のお手元に届くのは会誌のみとなり、その他のお知らせ等は、

<jlem-ml@jlem-sg.org>からみなさまの登録e-mailアドレスへ届けます。<jlem-ml@jlem-sg.org>が迷惑メールにならないよう、ご指定をお願いします。e-mailアドレスを変更する場合は、速やかに会員専用サイトにてご自身で会員情報の変更をお願いします。

●住所変更等

JLEMでは、会員管理システムに登録された会員住所に会誌を郵送します。住所変更が行われず、あるいは宛名不明のため、会誌が返送されてくるケースがあります。住所変更等があった場合は、速やかに会員専用サイトにてご自身で会員情報の変更をお願いします。

(小河原義朗)

ご連絡先をお知らせください

下記の方々には当日入会をされた方ですが、入会手続きが済んでいないので、JLEM日本語教育方法研究会(<https://secure.jlem-sg.org/>)の「入会申し込み」より、申し込み手続きをして下さい。

なお、下記の方々の中に、お知り合いの方がいらっしゃる方は、恐れ入りますが、お伝えいただけますよう、よろしくお願いいたします。

は事務局までお知らせください。

(敬称略, 10月30日現在)

(長谷川守寿)

鈴木聡子 藤田恭子 王夢蕾

(敬称略, 10月30日現在)

2015/09/19 日付け 3000 円振込み

「大野 裕」

2016/09/24 日付け 3000 円振込み

「山方純子」

2017/06/28 日付け 3000 円振込み

「オオタカ ヨウ」

●会費納入について

会費をお振り込みいただいた方で、
以下の方のお名前が会員名簿で確認
できておりません。お心当たりの方

日本語教育方法研究会

問い合わせ先: jlem-ml@jlem-sg.org

(レター編集: 本郷智子)